

室蘭栄高校 SSH 通信

da Vinci seed

ダ・ヴィンチ シード

令和2年12月10日(木)

第 5 号 発行

北海道室蘭栄高等学校

1年生 サイエンス英語 I

10月22日(木)5・6校時と10月29日(木)5・6校時に1年理科対象の「サイエンス英語 I」が実施されました。これは、外国人を相手に、英語によるプレゼンテーションやディスカッションの実習を行うことにより、英語での発表を行う力を身につけ、英語活用のスキルアップを図り、さらに英語で発信する能力を養う目的で行われています。

近隣のALT7名と、本校のALT合わせて8名が指導してくださいました。第1回は、オリエンテーション及び事前課題として与えられたトピックに関してグループに分かれてのディスカッションが行われました。

第2回には、自分の好きなサイエンスに関連するトピックに関して、プレゼンテーションを行いました。それぞれのグループで一人ひとりがしっかりと準備をした英語でのプレゼンテーションでした。ジェスチャーを交えてのプレゼンテーションはみんなとても上手でした。ALTからは、厳しい意見も出される場面もありましたが、非常に有意義な時間を過ごしました。



厚真町巡検の報告会

SSHの事業として初めてとなる、「厚真町巡検」が11月1日(日)に行われました。参加者は、希望した1年生の4名と2年生の1名で、厚真町教育委員会の学芸員の方のご案内と解説により

- ① 厚真町軽舞遺跡調査整理事務所見学
- ② 「厚真町における地震等の災害痕跡」の講話
- ③ 日高幌内沢大規模崩壊地点の見学

を行って来ました。

この巡検で学んだ内容を12月1日(火)の放課後、発表しました。パワーポイントにより、事前にまとめた内容を、5人が手分けしてしっかりと発表しました。見学者からの質問にも、適切に回答し、学習してきた内容をしっかりとアピールすることができました。



室蘭サイエンスコンソーシアム

今年度からの初の試みとして、プログラミングの基本や応用の学習、情報オリンピック等の科学系コンテストの出場、小学生向けプログラム教育やロボット作成への協力などを行うことを目標に日本工学院北海道専門学校・室蘭工業大学・室蘭市青少年科学館と連携して本校生徒を教育しようというプログラムが始まります。

参加希望者は、1年生11名で、まずは、12月24日(木)に日本工学院での基本的なプログラミングの学習が行われ、2月上旬には、室蘭工業大学の先生による指導が行われる予定です。